



校長室だより

令和6年度

12月4日

NO.36

勉強すること。将来役に立つこと。様々な勉強のカタチ...



英語の問題に答える



6年生「今月のきまりは？」



自分で調べてまとめたよ



みんなの「消費者教育」
お金をどう使いますか？

「複式」の準備
3・4年合同で国語の勉強

「なんで勉強しなきゃいけないの。」先生をやっていると、何度も子供に聞かれる質問で、勉強が好きではない子にとっては永遠の課題ではないでしょうか。学校の勉強は役に立つのかと、皆さんも一度は考えたことがあるでしょう。実際、何の役に立つのか、何が役に立つのか、いつ役に立つのか…は、人によって違います。その答えは、個々の考えや価値観ともつながっていて、答える大人によって違ってくるでしょう。今や「生涯学習」と言われ、「勉強すること」は、大人にとっても永遠の課題なのかもしれません。

また、これから生きていく上で、直接、必要なことを学校で学ぶこともあります。タブレットなどは、将来、仕事で使う子がきつというでしょうし、英語を話せなければならぬ子もいるはずで、学校で行う「キャリア教育」も、自分の将来について学ぶことで、役に立つでしょう。十一月二十二日には、消費者教育ということで、講師の先生に来ていただいて、お金のことについて学びました。「お金の勉強」なんてタブーの時代もありましたが、将来、どの子も必ず使うお金について学ぶことは必要です。SNSが発達し、お金のトラブルは年代関係なく、起こり得ます。そうしたトラブルや、お金の使い方、今のキャッシュレスについてなど、子供たちにとって、身近な問題として役に立つ学びでした。

もちろん学校では、必要なことを勉強します。国語で言えば、全てのもとになる「言葉の力」を学ぶことは必要不可欠です。そして大人になるとよく「学生時代にもっと勉強しておけばよかった」という言葉も聞きます。今は、「個別最適化」の学びと言われるます。それぞれ、個に応じて、自分から主体的に学ぶことが求められます。教室前廊下に、自分たちで調べてまとめたものが掲示してありますが、こうして、「楽しく」、主体的に勉強したことは、きっと子供にとって、身につく力なのではないでしょうか。

- 1学期の個別懇談会、お家での様子、困っていることなどあれば、ご相談いただければと思います。
- 昇降口に様々な案内チラシが置いてあります。ご要りようの方は、懇談会など学校にみえたときに、お持ちいただいて結構です。